2024年度　自己評価・施設関係者評価報告書

2025年　４月
認定こども園　北竜台ふたば文化

１．園の教育・保育理念　教育・保育目標

～本園の教育・保育理念～
たくましく　大地に根をはれ　ふたばっこ
北竜台ふたば文化は子ども達の楽園です。
楽しくなければこども園ではない！

～　教育・保育目標　～

１）　丈夫で元気な子
２）　自然に親しむ子
３）　友だちと仲良く遊べる子
４）　よく考えて行動する子
５）　最後までがんばる子

未来に生きる子ども達に、健康な体とたくましい精神力、自主性と創造性のある生き方のできる基礎を培い、将来、手を繋ぎ合って平和な国際社会を創り上げていく人間に成長することを願っています。その為に自然の中で、子ども達が仲間と一緒に、伸び伸びと健康で明るく生活できる、より良い環境を作っていくことを心掛けています。

２．　本年度重点的に取り組む目標や計画

おともだち大好き！ふたば大好き！！	
子ども達が年齢の枠を超えて友達と関わり、お互い学び育ち合い、「おともだち大好き！そして、おともだちと一緒に過ごすふたばが大好き！！」と感じられるように、環境を設定し、ねらい、計画を立て、研究し、学期ごとに反省を行った。	
まとめ	「絵画製作」と「異年齢児交流(ミルククラスは音楽を通しての異年齢児交流)」のテーマで保育を行い、学期ごとに反省を行った。 異年齢児交流は、４・5歳児クラスと０・１・２歳児クラスと、ホームクラス・だいち組が主に行った。絵画製作では、3歳児と４・５歳児クラスが行った。 ４・5歳児は、縦割りクラスの為、担任間で話し合い活動の様子を伝え合ったことで、反省を活かしながら、同じ活動内容を取り入れることが出来た。今後は、園全体で、違うグループや学年の活動内容・反省を共有し、保育に活かせると良い。 異年齢児交流では、子ども達が大好きな友だちと出会い、関わりを広げて成長し、友だちの名前をたくさん覚え、園全体で学年を超えて遊びを楽しむ姿が見られるようになった。 絵画製作については、子ども達一人ひとりが自分なりのイメージを持ち、表現を楽しみ、友だちと認め合うことも出来た。 「絵画製作大好き！」の気持ちを育むことが出来た。 「おともだち大好き！ふたば大好き！」と子ども達がたくさん感じる1年間になった。

３．　評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	集計結果	評価
園の方針・教育理念の理解/保育の実践と振り返り	98%	A
職員として	95%	A
安全管理	90%	A
保護者対応	93%	A
地域・園外活動	78%	C
園庭（環境）・環境設定	91%	A
研修・研究	80%	B
総合	89%	B

※各項目にチェックを付けた人数を集計し各項目の割合を計算した。
９０%以上A　８０%以上B
６０%以上C　４０%以上D
４０%未満E　とし、評価を行った。

評価項目	取組内容	自己評価
園の方針・ 教育理念の理解 /保育の実践と 振り返り	・教育保育課程、理念の実現に向けた各種計画の作成 ・今の子ども達の姿に応じた計画の作成 ・記録を取り、学年やクラスごとに反省し課題を次につなげる	・今年度も理念の実現に向けて、年間計画を作成し、そこから月、週、日々の計画を作成し、日々の保育にあたった。 ・各学期ごとに、子ども達の様子や、遊びを振り返り、反省し、課題を見つけ出すことができた。 その課題をすぐ次の保育に活かすことができた。 ・年間計画を見直し、今の子ども達の姿に応じた計画の作成を行うことができた。
地域・園外活動	・積極的な散歩と、地域の方との関わり	・昨年度園外への散歩が少なかったので、積極的に散歩へ行く機会をつくった。新しい散歩コースや、地域の方との関わりももつことができた。 コロナ後から、職員の自己評価での集計結果が悪かったが、今年度は意識して行うことができた。 ・小学校との交流も、コロナ前のように密にできた。 小学校へのイメージや、期待をもてた年長児が増えた。
家庭との連携	・連絡帳での様子の共有 ・子ども達の様子の動画配信 ・キッズビュー配信の定着	・連絡帳で丁寧に子どもの様子を伝えるように努めたことで、保護者の方が成長を実感して喜んでくれた。 ・昨年度と同様に行事などのYouTube配信を行ってきた。 今年度も何を見せたいかポイントをしぼり、発信することができた。 ・よりわかりやすい内容、レイアウトを検討していく。
園の活性化・ 園児募集に 繋がる取り組み	・Instagramの開設 ・父母の会との連携 ・園児募集	・園の様子や雰囲気を、地域の方、未就園児の保護者の方に知ってもらいたくInstagramを開設した。保育の様子を、保護者の方に見ていただく良い機会にもなった。 ・園の駐車場の整備を父母の会からご協力いただき行った。 ・パンフレットを新たに作成し、ポスターを貼る場所も増やした。（市外などにも貼りだした）

４．今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・プレ保育 『わくわくひろば』の開設	・キッズランド、チビッコランドを終了し、０歳児～２歳児対象のプレ保育『わくわくひろば』を２０２５年度からのスタートに向けて準備を行った。 開設することで、園へ遊びにくる機会を増やしていく。

５．2025年度努力目標

2025年度努力目標（スローガン）
『えがおかがやけふたばっこ！～みんなといっしょがたのしいね～』

子ども達が夢中になって遊び、活動し、一人ひとりの笑顔が輝くよう、日々の保育でも、行事でも、人数減少に負けず活気ある園づくりをみんなで目指します。
ふたばっこのキラキラ輝く笑顔がたくさん見られるように、集団遊び、食育、表現遊びのグループに分かれて計画を立て、研究を進めていく。

６．施設関係者評価員の評価

上記内容について、施設関係者評価員として２０２４年度父母の会　会長　副会長（２名）に評価を頂きました。

園の方針・理念について

・保育理念の１～５の通り、保育にきちんとその考えが反映されていて、たくましくそして優しい子に育ちました。
・教育保育理念に感銘を受けて入園を決め、卒園する頃にはふたばっこになれて良かったと感謝しています。
・縦割りクラスのため、年齢関係なく園児全員が仲が良い。
・異年齢の子と関わることも多く、あまり社交的ではない我が子でもクラスも学年も違う友達の名前もちゃんと覚えていて、毎日の登園にも安心感が持てるようになった。
おかげで初めての場所でも臆せず活動できるようなりました。
・先生は忙しいのにも関わらず、連絡帳でこまめに普段の園での様子を伝えてくださり、本人からは聞けない出来事を教えてもらうことができ、とてもありがたく、安心できた。
・個人面談の時間は、もう少し時間がほしい。
・温故知新を現したような園で、運動会ではお弁当を食べたり、伝統の踊りがあったり、コマや、羽子板など昔ながらの遊びがある一方で、Instagramや、アプリ配信、YouTubeなど新しいものも取り入れている。
・YouTubeやInstagramを通して園での様子がよく伝わった。
・昨年度同様、給食を写真での配信に変えてくれたので、何を食べているのかわかりやすかった。
家でも写真があるため、メニューを取り入れやすかった。

行事について

・行事は、親子で楽しめる内容でいつも満足しているが、特に夏祭りは保護者がお店屋さんになれるので楽しかった。
・劇の発表会では役を与え台詞を与えるのではなく、子どもたち自身に選ばせて毎回違う役を演じることもあるというスタイルで、子どもが自ら考えて動くという力を養ってくれた。
・父母の会開催のイベントの復活。
シャボン玉にも色々な楽しみ方があることを知って、園児も喜んでくれた。
・駐車場を整備したため、車のすれ違いがスムーズになった。
・サークルの活動のおかげで、保護者と園児の関わりがたくさんある。
・『わくわくひろば』の開設はふたばの良さをより色々な方に知っていただく機会が増えますので、素晴らしいです！Instagramでの配信で、楽しいのがこちらにも伝わってきます。

環境や、職員について

・先生方がいつも笑顔で園児や保護者にも接してくださる、とても素敵な園だと感じています。
お迎えに行った時にも、かなりの園児数がいるにも関わらず担任以外の先生でもパッと『◯◯ちゃんのお母さん』とすぐ認識してくださり、全ての先生が子どものことだけでなく保護者の顔まで覚えてくださっていることに感動しました。
・園へいつ行っても、いつも先生方が楽しく保育をされていて、子ども達もいつも楽しんでいた。
悩みがある時も一緒に考えて、必ず解決してくださり、安心して預けることができた。
・ホームクラスは、第２の担任と感じるほどよく見てくれ、相談にものってもらい、ホームと言う名の通り温かい場所だった。働く保護者にとってとても心強い味方でした。
・先生達が、園児や保護者のために駐車場の穴の整備や、雪かき、除草作業など園の清掃整備に動いていて、頭が下がる思いだった。
・バスの運転手さんも、バスを利用していない親子にもあいさつや、声をかけていただき楽しかった。
・広々とした園庭で自由に遊ぶ時間が多く、体全体を使うアスレチック遊具や泥だらけになって遊べる砂場。最近公園では遊具が減ってきていますが、ふたば文化の園庭は本当に子どもたちにとって楽園だと思います。
ふたばのおかげで、子ども達は自然大好きな伸び伸びとした子に育っていると感じています。

親子共々、たくさんの事を学び沢山成長が出来たこと、いつも園児と保護者の事を考えていただき、本当に感謝しています。ありがとうございました。

施設関係者評価員：２０２４年度　父母の会　会長　２０２４年度　父母の会　副会長

以上のような評価をいただきました。今回いただいた温かいお言葉を胸に、職員一同気持ちを一つにし、より良い園になる様、全力で努めてまいります。